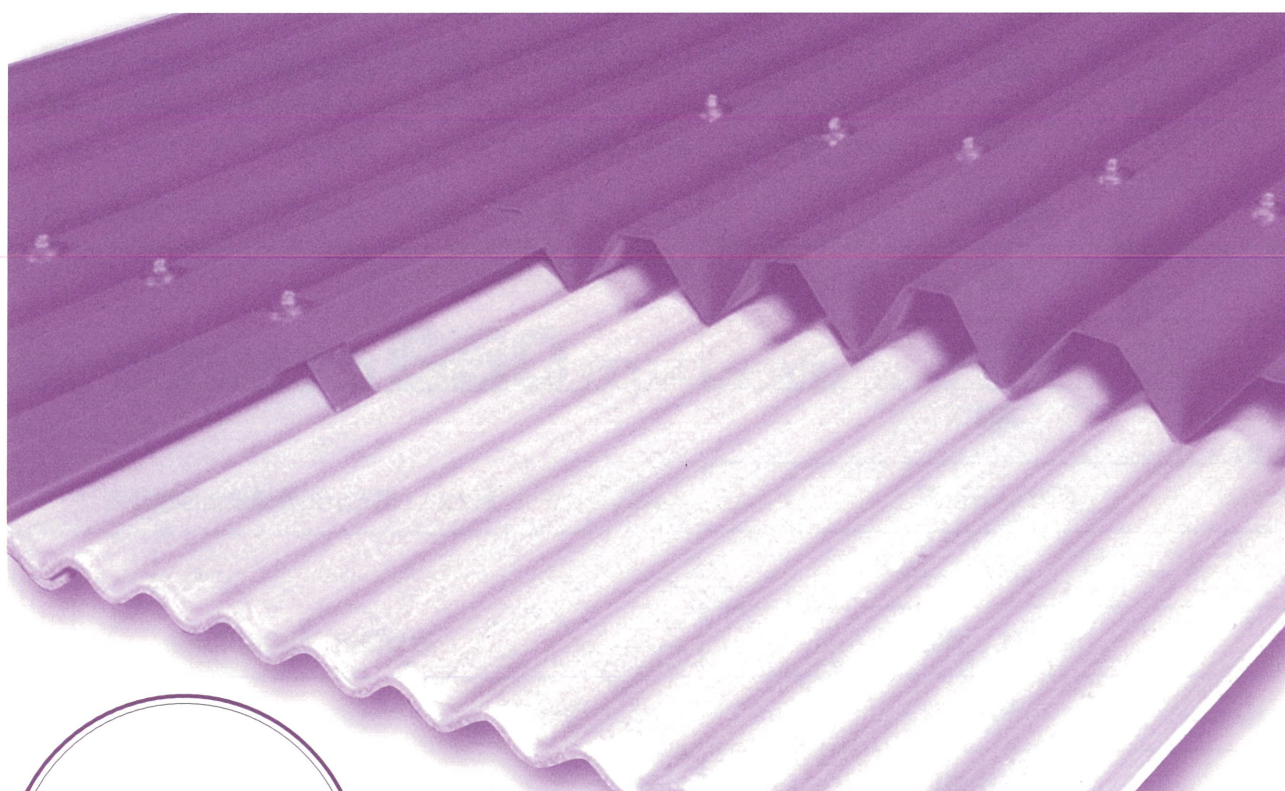


スレート屋根改修工法

MS タフフレッシュ 650・635

施工の手引き

改訂版



保存用

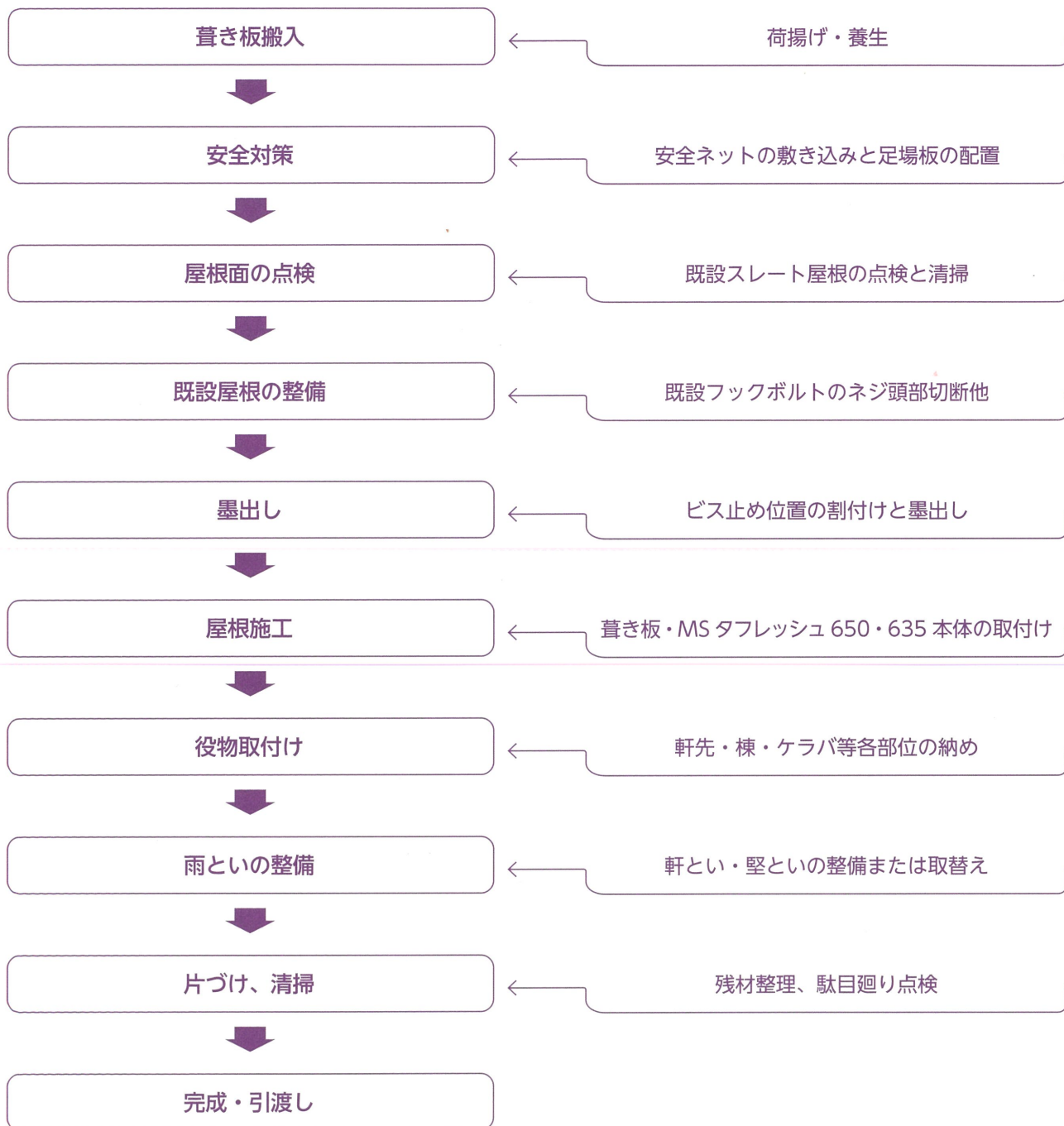
ファイルして
ご使用ください。

⊙月星商事株式会社

施工の流れ

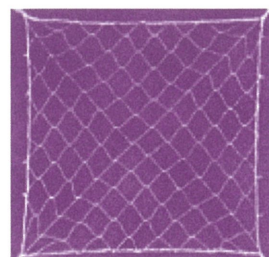
【工程】

【作業内容】



■ 安全管理

- スレート改修工事における踏み抜き墜落防止策として、安全ネットをおすすめします。
- 安全ネットは既設スレート屋根全体に敷き込み、通路となる位置に足場板を敷いて作業してください。
- 安全ネットは敷いたままの状態で行ってください。
- 屋根作業中、既設フックボルトやスレートを落下させないように十分注意してください。



安全ネットの一般規格品

スレート屋根改修工法

MS タフフレッシュ 650・635

MSタフフレッシュは、大波・小波スレート屋根改修のための工法として開発したものです。

この資料は、スレート屋根の改修を適確に行うための標準的な手引書です。

施工にあたっては、地域の特性を考慮して、ご使用くださいますようお願いいたします。

MS タフフレッシュの特長

- 施工がシンプルです。

大波、小波のスレート屋根に対応し、スピーディーな施工が可能です。

- 経済的です。

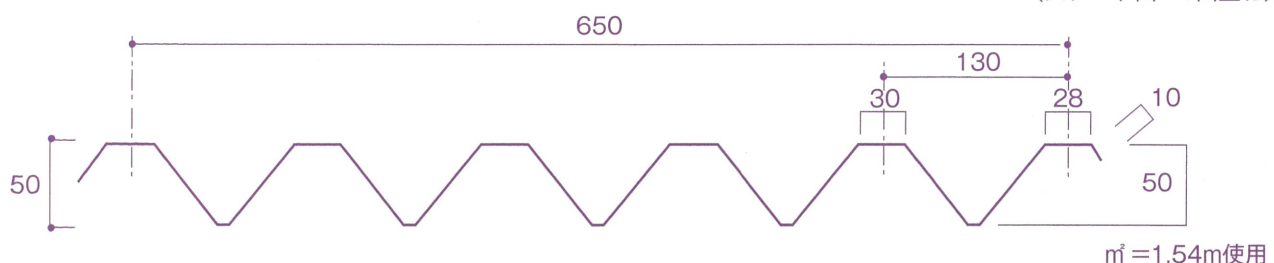
解体しないので、今まで通りの使用状況を維持しながら施工できます。撤去費用が不要です。

- 美しい屋根に仕上がります。

斬新な色調のカラー鋼板で、古いスレート屋根のイメージを一新します。

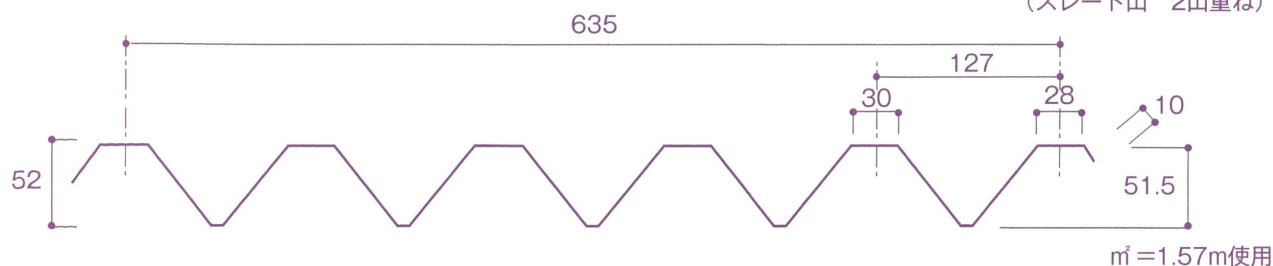
MS タフフレッシュ 650 (スレート大波用)

◆断面形状

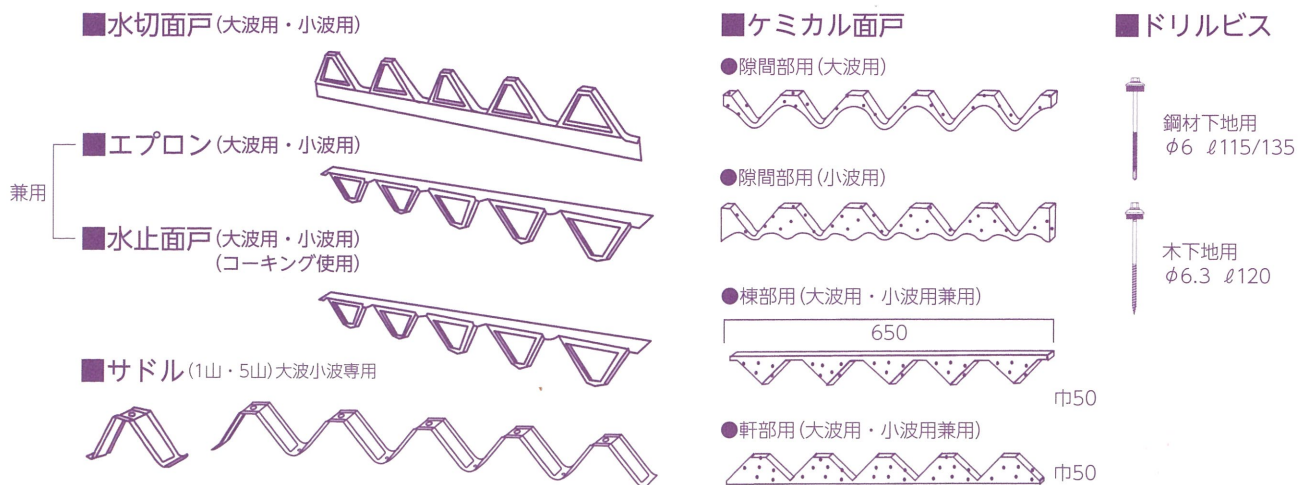


MS タフフレッシュ 635 (スレート小波用)

◆断面形状



◆役物部材

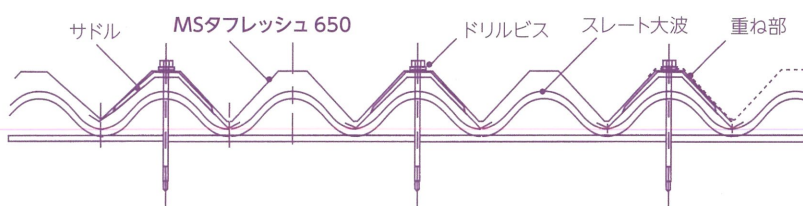
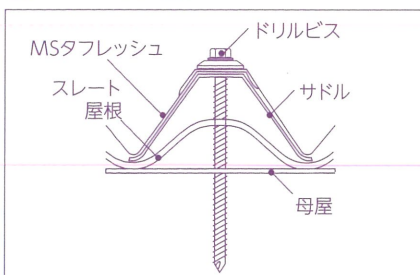


◆サドル位置

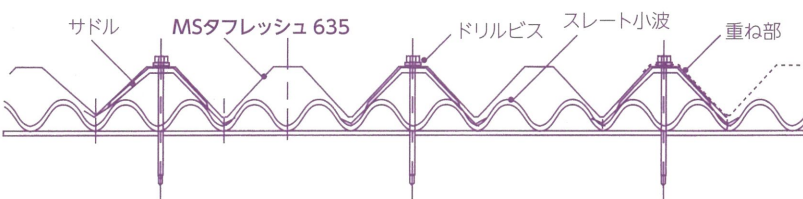
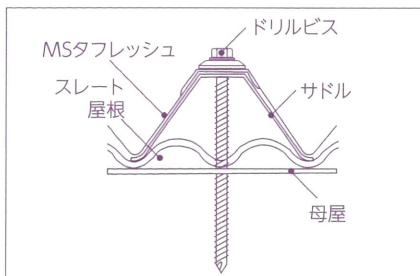
●標準使用箇所

- ・5山サドル：棟部(水上)、軒部(水下)、スレートのタテ重ね部、明り採りの水上、水下、中間胴縁
- ・1山サドル：ケラバ廻り毎母屋、スレートのヨコ重ね部、一般部は随時

■スレート大波



■スレート小波

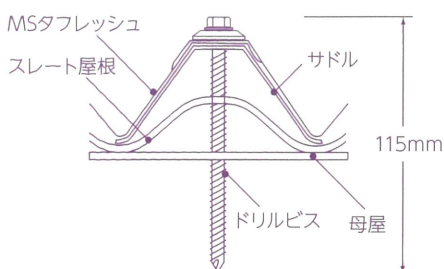


◆ドリルビスの長さ

- ドリルビスの長さは既設スレート屋根の葺かれている状態を点検して、下記のものを選んで使用してください。

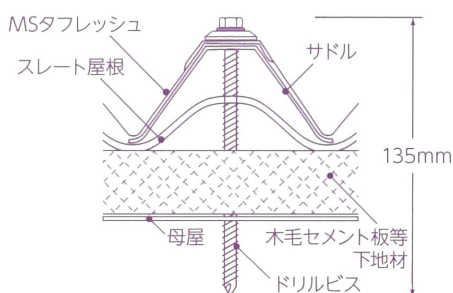
A. 下地なしで直接母屋に葺かれている場合。

- ※ドリルビスの長さは115mm以上のものを使用してください。



B. 木毛セメント板等下地材(厚さ15mm～30mm)の上に葺かれている場合。

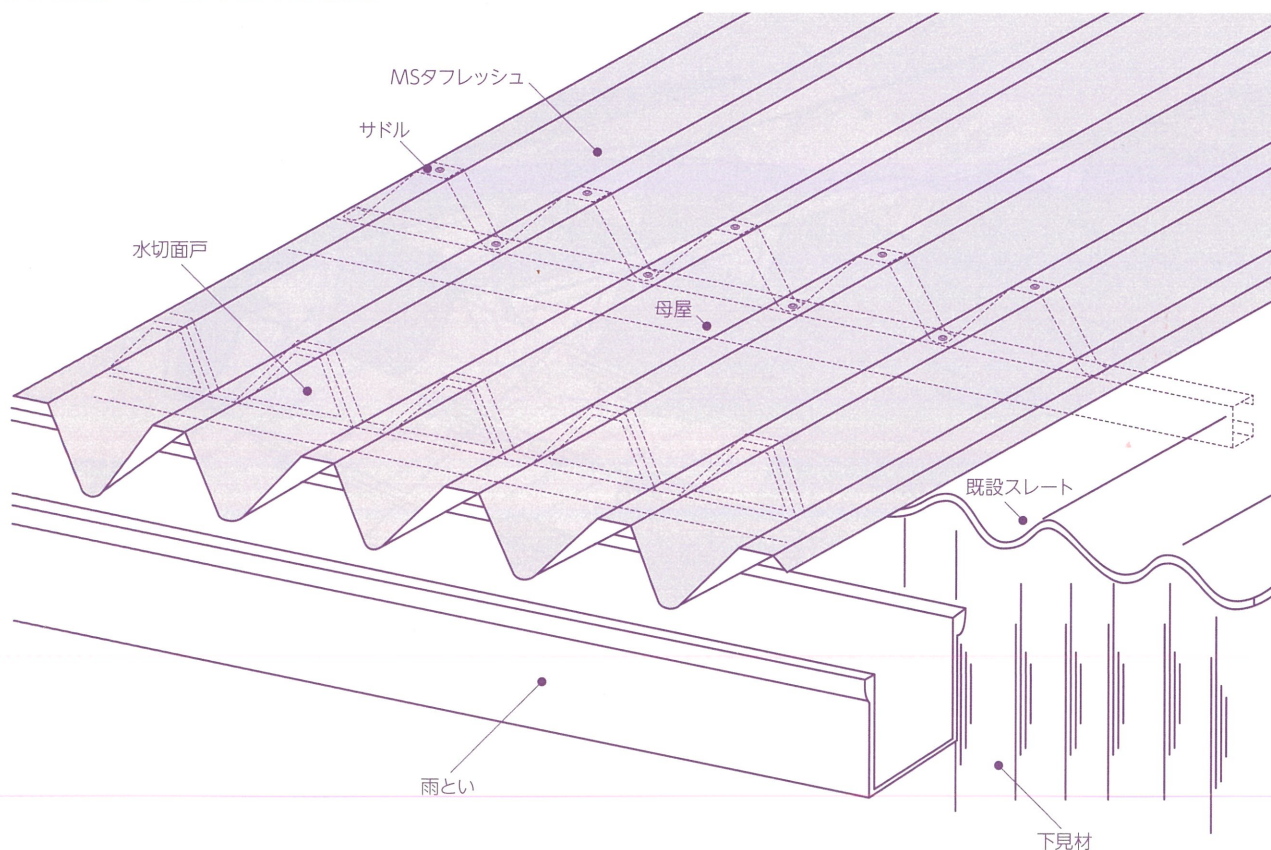
- ※ドリルビスの長さは135mmのものを使用してください。



MSタフフレッシュ 650・635 ●納め例(共通)

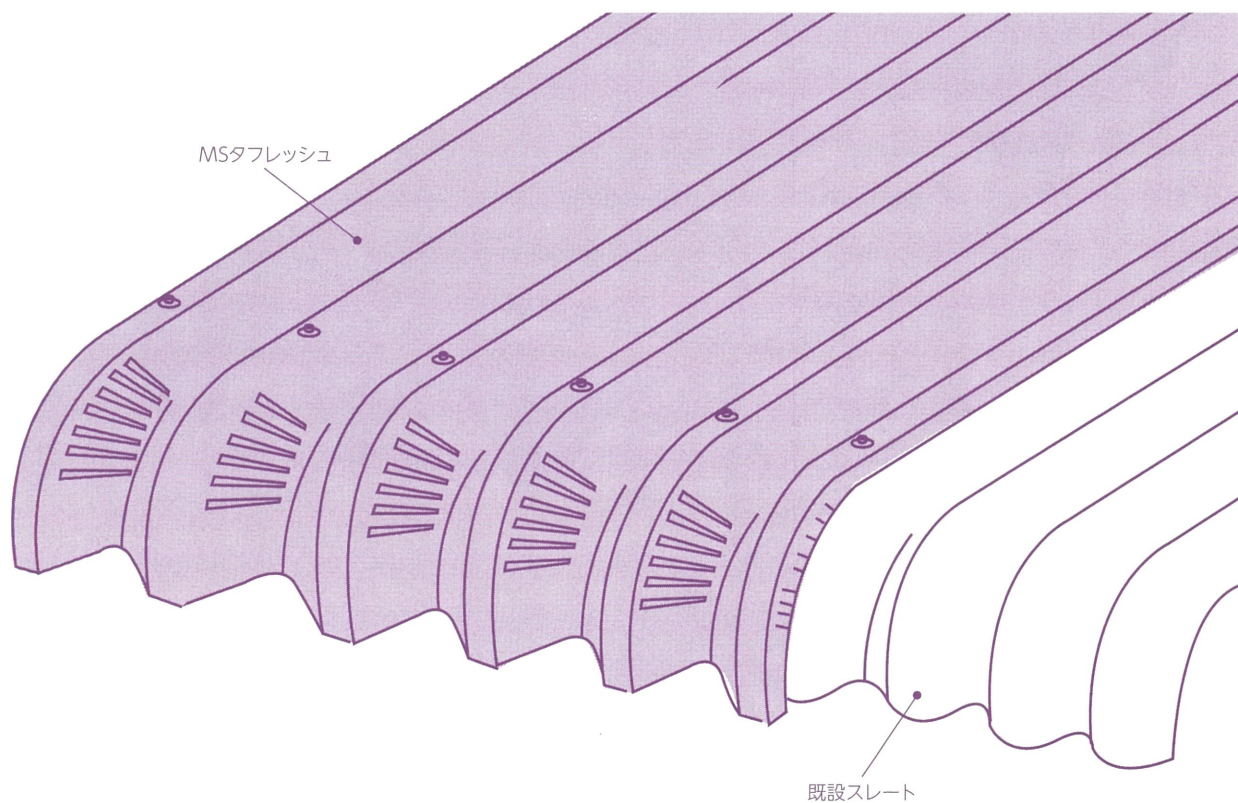
1 軒先納め

●水切面戸をつけて納める場合。



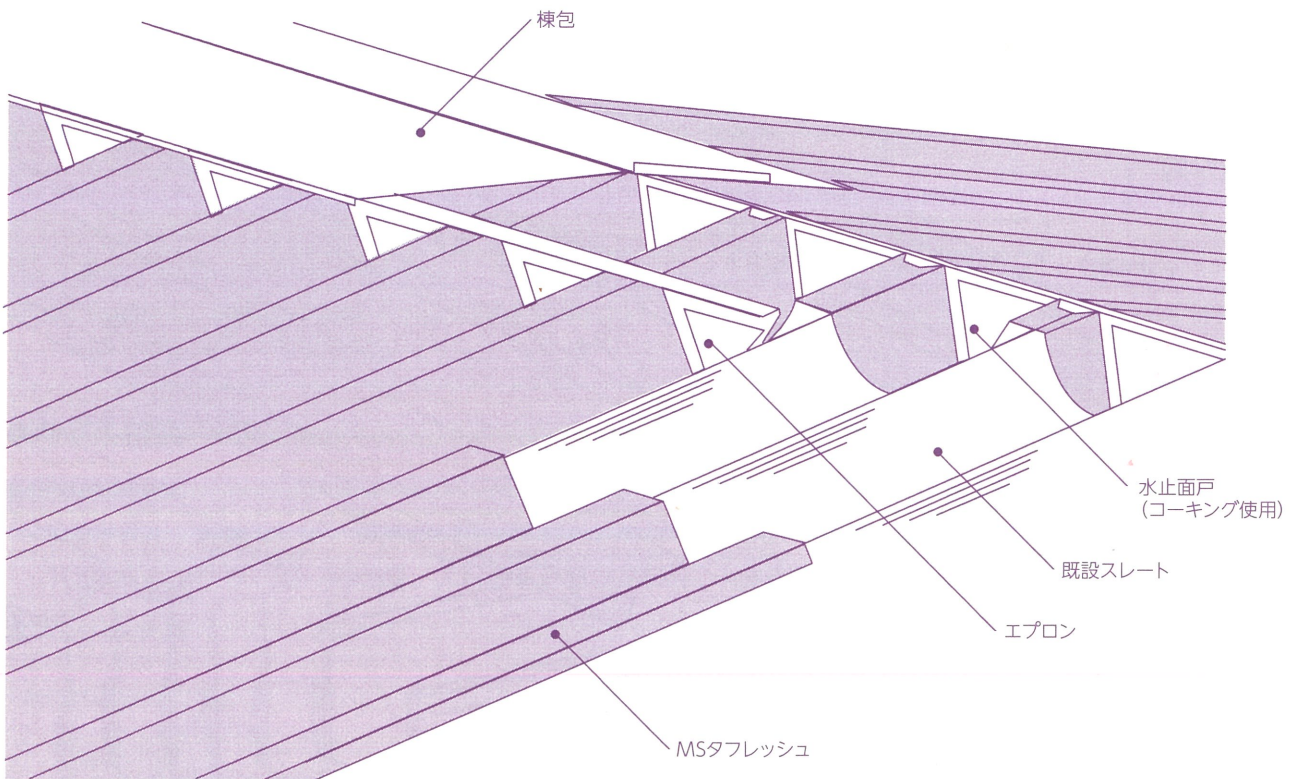
2 軒先納め (R曲げ加工)

●既存の大波先曲げスレートに合わせてR曲げ加工して納める場合。

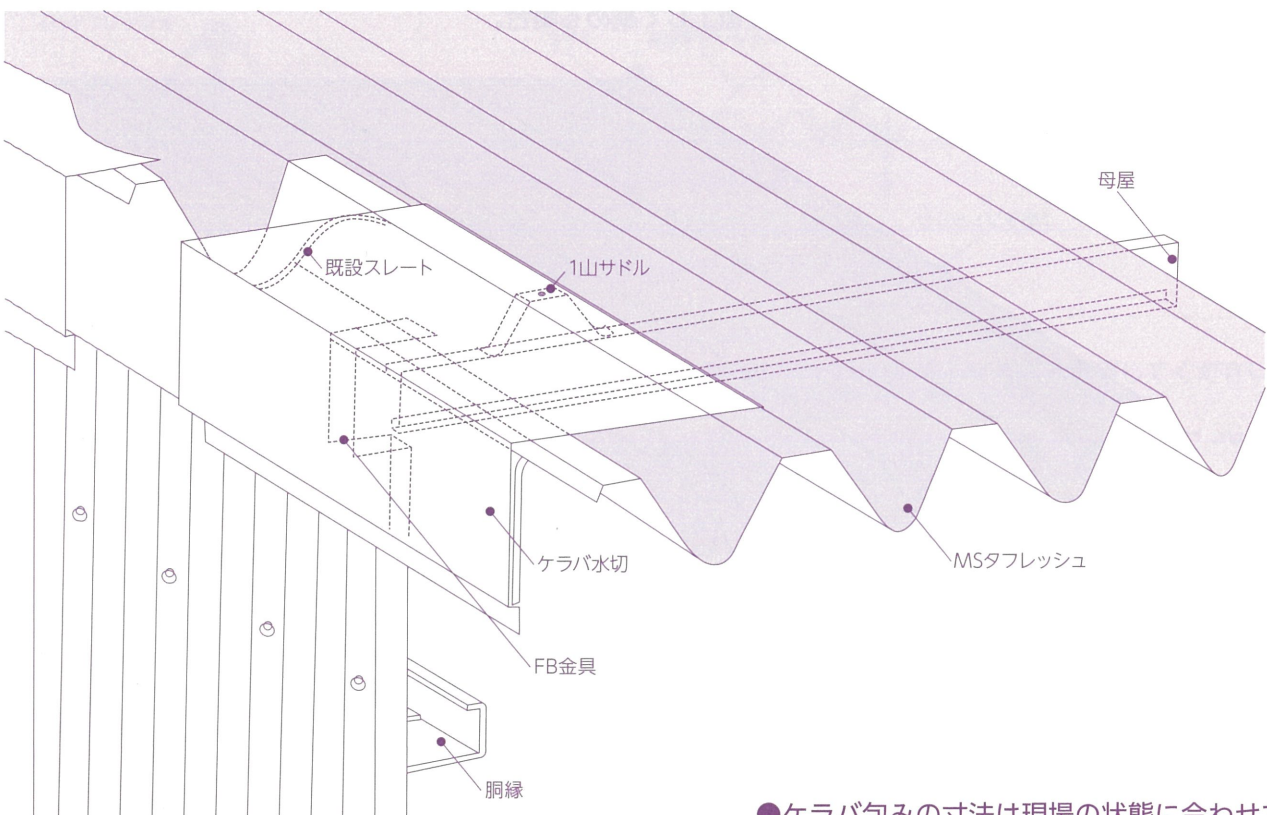


◆納め例(共通)

3 棟納め

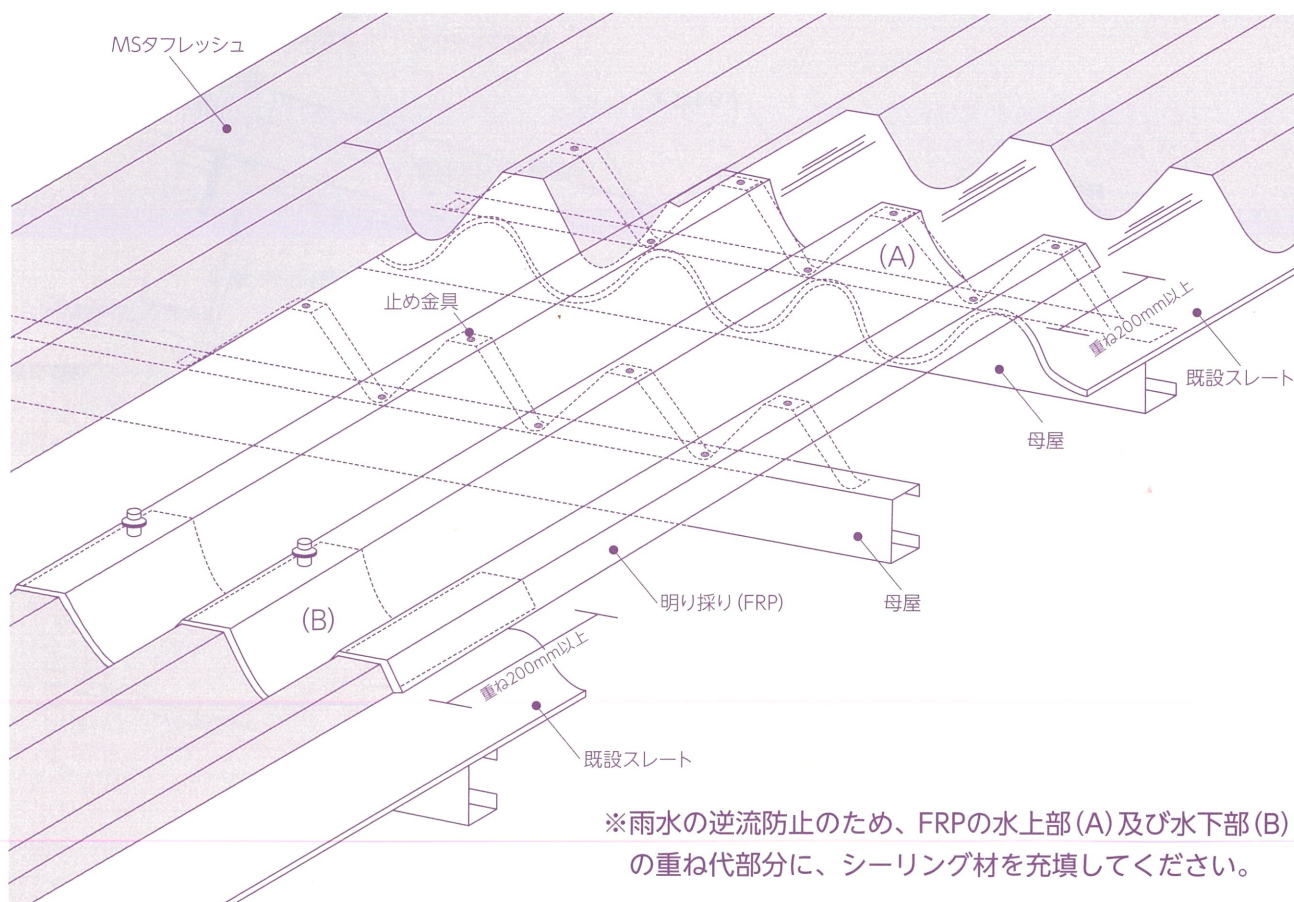


4 ケラバ納め



●ケラバ包みの寸法は現場の状態に合わせて加工してください。

5 明り採り

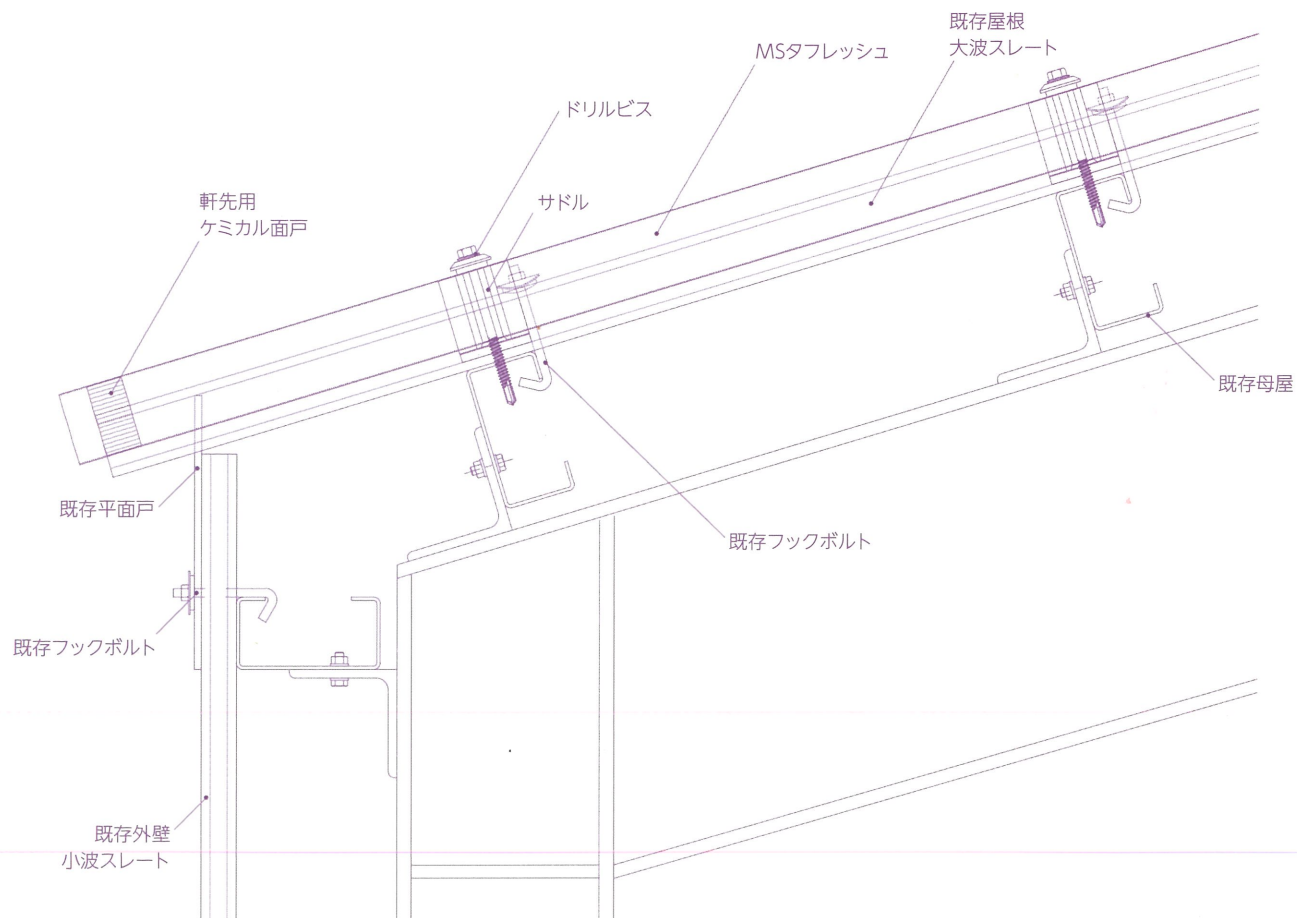


※雨水の逆流防止のため、FRPの水上部 (A) 及び水下部 (B) の重ね代部分に、シーリング材を充填してください。

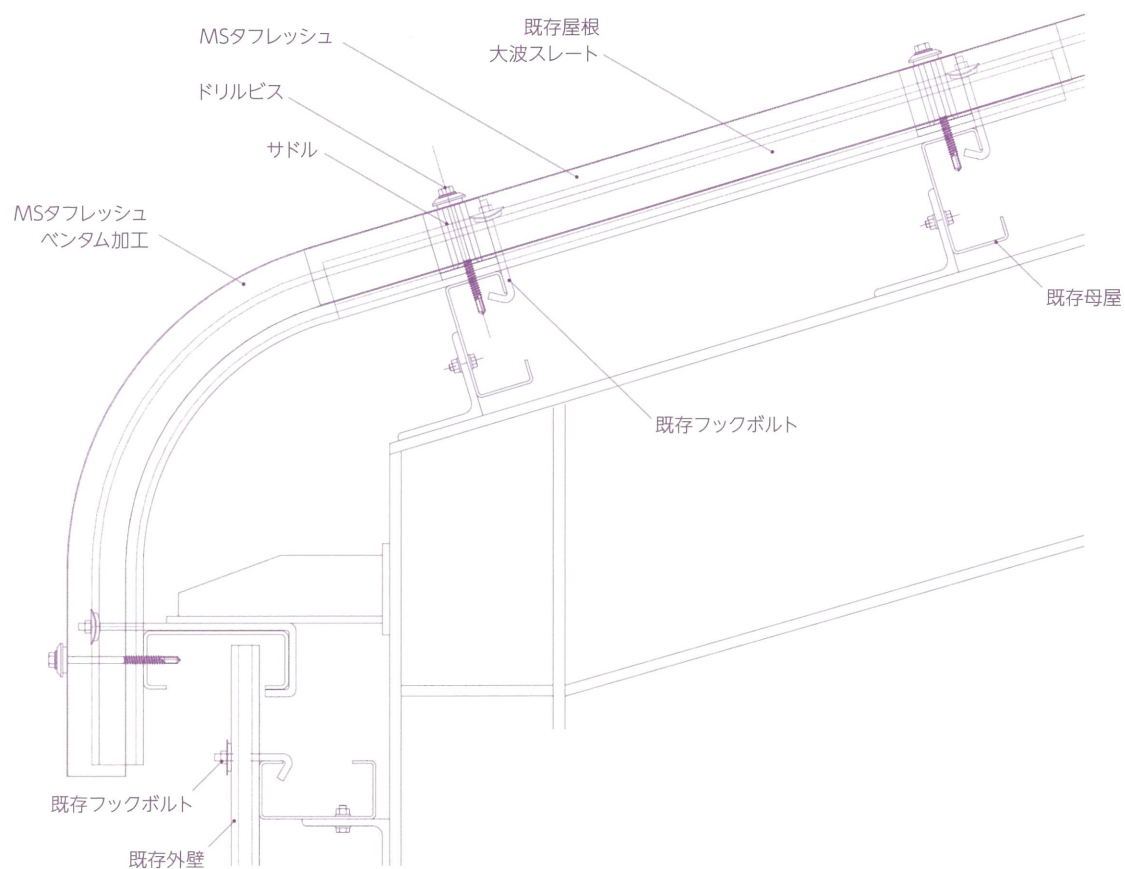
●明り採りの重ね代は水上部・水下部共200mm以上重ねてください。

◆各部位納め例 断面詳細図

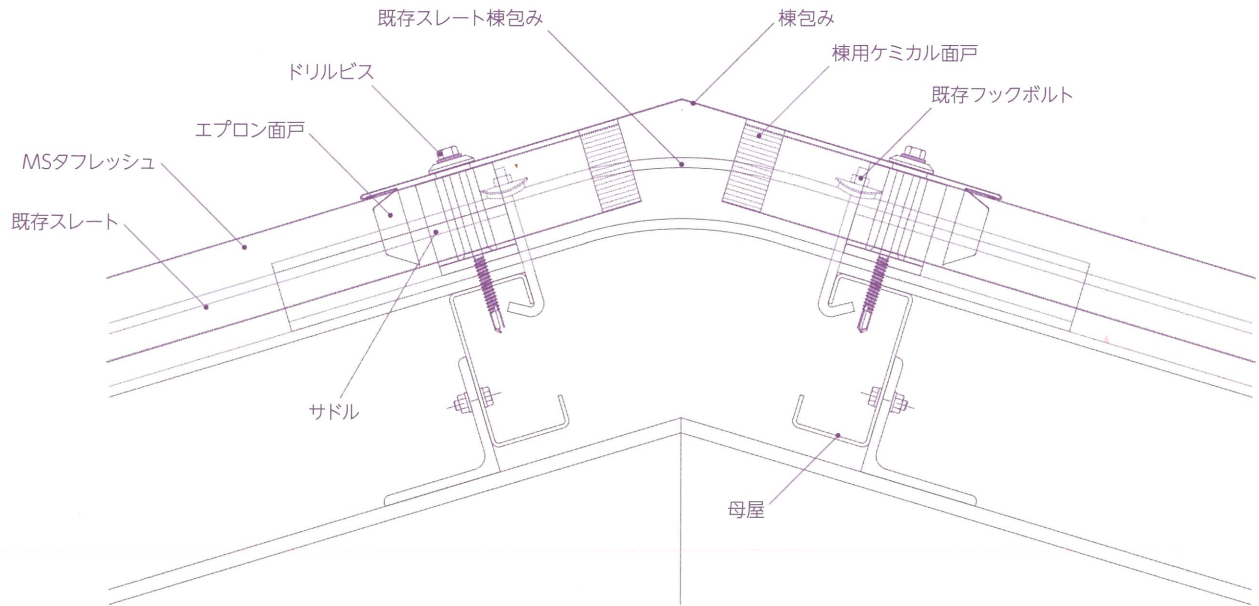
1 軒先納め



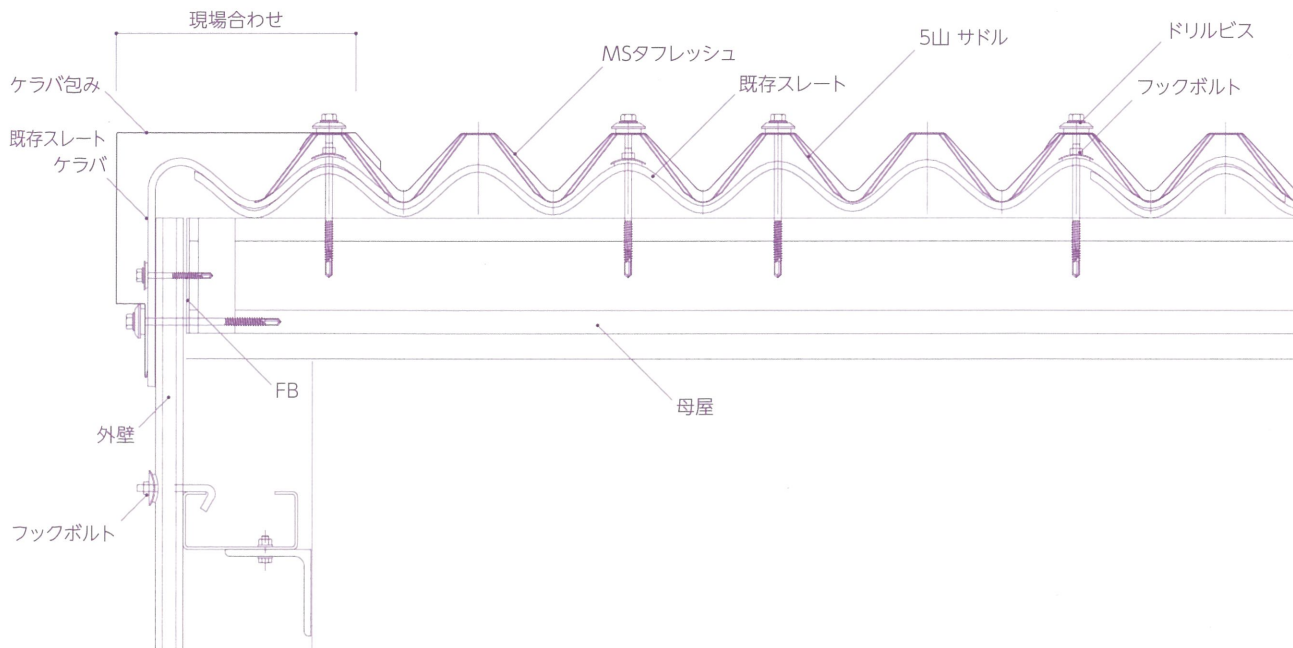
2 軒先納め



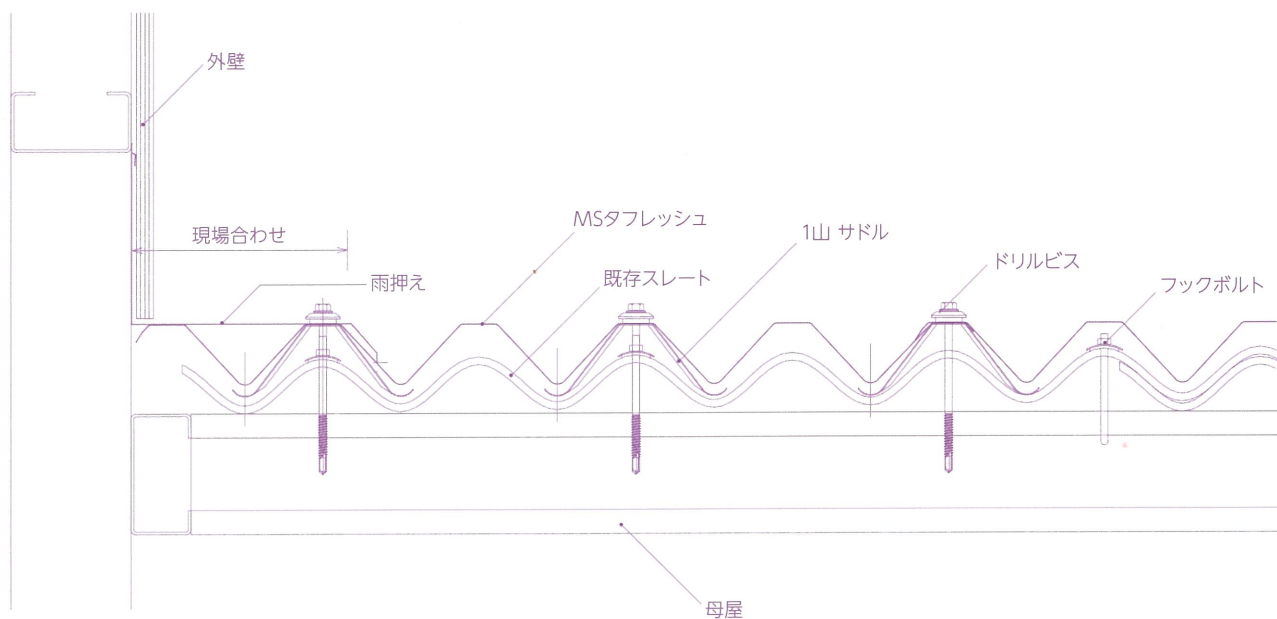
3 棟納め



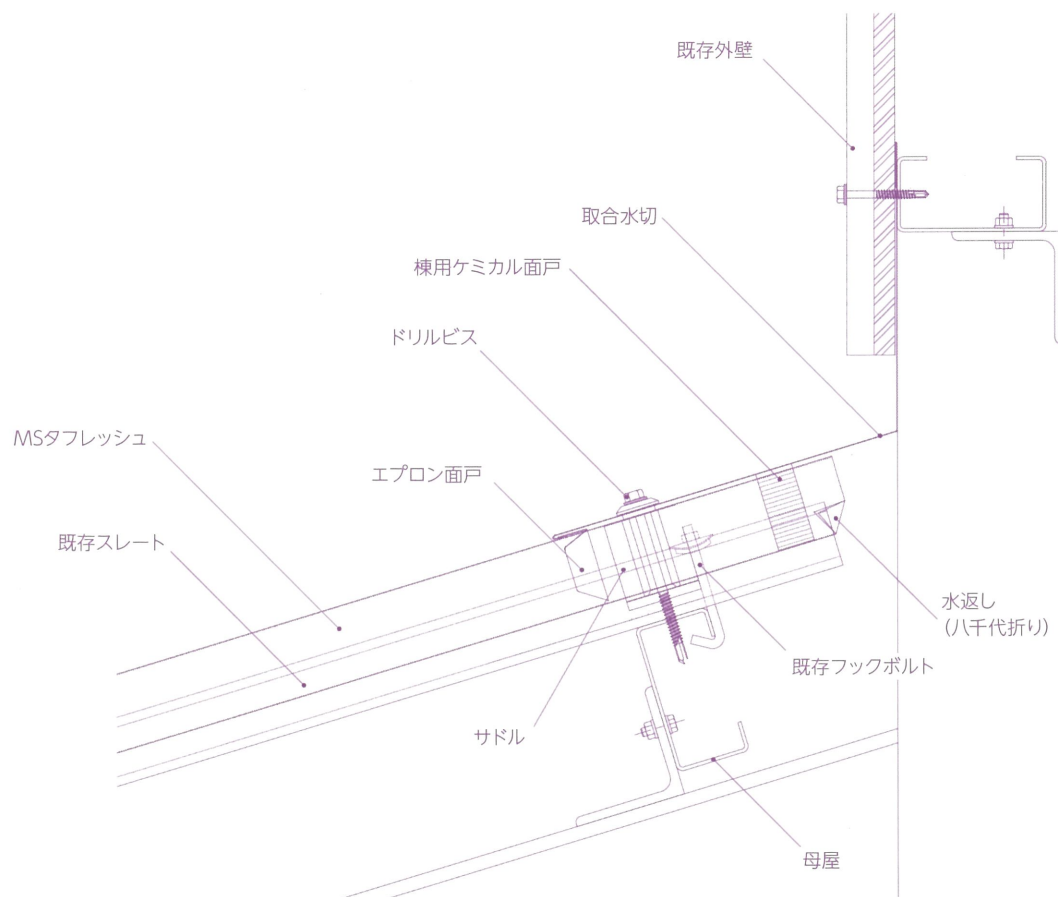
4 ケラバ納め



5 壁取合納め(流れ方向)



6 壁取合納め(水上)



安全上のご注意 (必ずお守りください)



警告

この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- 高所作業を伴いますので、転落による事故防止のため、高所作業の正しい服装と保護具を着用し、足場の点検を行ってください。
- 2メートル以上の高所作業は、安全ベルト、命綱の携帯が法律で規定されています。事故の可能性がありますので、関係法規に従ってください。
- 金属製屋根・外装材ですので、けがを防止するために、必ず作業手袋を着用してください。
- 強風・雨天・降雪・雷鳴時は施工しないでください。落下または落雷事故の恐れがあります。
- 雨や露で屋根面がぬれている場合は、施工しないでください。滑り落ちる恐れがあります。
- 金属屋根や金属部材は、電線等に触れないように取り扱ってください。感電の恐れがあります。
- 固定していない屋根材・役物の上には絶対に乗らないでください。
- 屋根材は風で吹き飛ばされないように設置してください。また風の吹いているときに持ち運ぶ場合、あおられないよう、足元を固めてください。
- 葺き上げた屋根面には物を置かないでください。ルーフィング上に屋根材を置くときは、安全を確認して滑り落ちないように固定してください。



注意

この表示の欄は、「取り扱いを誤ると、人が傷害を負う危険または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 製品の屋外保管の場合は防水シートで覆い、雨水に濡れないようにしてください。
- 防水のため施工の際は、葺き板の働き幅による正確な割付を行ってください。
- 屋根上での歩行は、屋根材に過度の付加が加わらないように注意してください。
- 断熱材貼り製品の場合、裏面や切断面に溶接の炎、火花などがあたと引火する恐れがあるので、養生するなど特にご注意ください。
- 屋根上で作業中に出る加工片や切粉は、さびの原因となりますので、確実に取り除いてください。
- 異種金属との接触は、もらいさびの原因となりますので、避けてください。
- 現場加工時に、鉄板の切断面に生じたバリは、けがをする可能性があるので取り除いてください。
- 下葺き材はアスファルトルーフィング940またはゴムアス防水シート以上の品質のものを使用してください。
- 施工したあとの屋根面の塗装に傷がつかないように注意してください。もし傷をつけてしまった場合は、必ず補修塗料で補修をしてください。
- シーリング材、補修スプレー、補修塗料などは、製品安全データシートに従って、正しくご使用ください。
- 落ち葉やごみなどは作業者の足を滑らせたり、目を傷つけたりして事故の原因となることがありますのでご注意ください。毎日の作業前・終了後は、現場の掃除をしてください。

免責事項

金属屋根材および外装材は、建築材料・製品として、十分満足できる品質・性能を備えていますが、正しい施工と適切な維持管理がなされることによって、初めて耐久性や耐候性、その他の機能が発揮されるものです。下記の項目に反した使用により不具合が発生した場合、弊社では責任を負いかねます。ご了承ください。

- 貴社の施工管理が十分なされなかったことに起因する場合。
- 施工店による、施工や取り扱いが原因で不具合が生じた場合。
- 入居者（管理人を含む）又は第三者による維持管理不行き届き並びに故意・過失に因る場合。
- 建物の構造上に起因する変形、変位または結露、下地材の腐朽等による不具合が発生した場合。
- 施工に起因する事故、および釘部のさび、切粉・加工屑・落ち葉・動物の排泄物・粉塵等が原因で汚れ等が発生した場合。
- 瑕疵を発見後、速やかに通知が出されなかった場合。
- シーリング部に不具合が発生した場合。
- 経年変化による軽度の色ムラ及び埃の堆積による変色や白化現象。苔、藻、カビ等の発生による汚水や変色。
- 建築基準法および関係法規に違反した使用により不具合が生じた場合。
- 天変地異・周辺環境・大気汚染等公害・塩害等に起因する特殊環境下で不具合が生じた場合。
- 契約当時、実用化された技術では予測することが不可能な現象に起因する場合。
- 屋根・外装材以外の用途で使用し、不具合が生じた場合。
- 水が溜まる状態の部分の塗膜損傷および電食作用が原因で不具合が生じた場合。
- 不適当な他材料（銅、鉛、銅イオンを防腐処理した木材等）と組み合わせ使用したことに起因する場合。
- 屋根工事完了後における増改築・補修並びに太陽光発電システムやアンテナ等の設置或いは付属品等の取付けに因る場合。
- 特殊環境地域（温泉場や絶えず蒸気等により製品が濡れている様な環境の地域、焼却炉付近、特殊ガス・熱・酸・アルカリ・塩類・その他腐食物質を発生する施設や工場並びに地域、塩害地区、海・河川等の周辺でしぶきがかかるような地域、煙塵及び金属粉・石粉が堆積する地域）における損傷。
- その他弊社の責に因らない損傷に起因する場合。

その他ご不明な点がありましたら弊社にご相談ください。

MSタフフレッシュ650・635

施工手引きのご使用に当たって

- 施工手引きには、MSタフフレッシュ650・635を安全に正しくお使い頂くための重要な情報を記載しています。
- 施工や納まりの方法は、施工手引き記載以外のものもありますが、製品品質、施工品質を確保するための方法として、標準的な例として記載しております。
- 実際の施工においては、MSタフフレッシュ650・635の機能及び性能や既設屋根の状況、地域性などを考慮して工法を決定してください。
- 施工手引き内で示す各役物は、現場屋根に合わせた役物寸法でお願いします。
- 施工手引きを参考いただき、元請け様や工事店様のご判断責任のもと、施工を行って頂きますようお願い致します。弊社は免責とさせていただきます。
- MSタフフレッシュ650・635の工事に当たり、施工手引き記載の基本事項をご理解の上、実際の現場に即した、安全で確実な施工を行って頂きますようお願い致します。

月星商事株式会社

本社 〒104-8533 東京都中央区八丁堀四丁目4番2号
営業 TEL : 03 (3551) 2125 FAX : 03 (3552) 4079
<http://www.tsukiboshi-shoji.co.jp>

大阪支店 TEL : 06 (6462) 0202 FAX : 06 (6462) 4466
福島支店 TEL : 0247 (62) 6211 FAX : 0247 (62) 6220
北関東支店 TEL : 0270 (65) 3311 FAX : 0270 (65) 8747
小山支店 TEL : 0285 (49) 2311 FAX : 0285 (49) 2317
埼玉支店 TEL : 048 (728) 9111 FAX : 048 (728) 8585
土浦支店 TEL : 029 (831) 8022 FAX : 029 (831) 8010
千葉支店 TEL : 043 (259) 0511 FAX : 043 (257) 2005

神奈川支店 TEL : 046 (263) 2020 FAX : 046 (263) 2035
静岡支店 TEL : 0548 (22) 5241 FAX : 0548 (22) 5631
名古屋支店 TEL : 0561 (31) 0061 FAX : 0561 (31) 0063
兵庫支店 TEL : 0790 (22) 5271 FAX : 0790 (22) 5262
山梨営業所 TEL : 055 (284) 1261 FAX : 055 (284) 1263
高松営業所 TEL : 087 (806) 3311 FAX : 087 (806) 2236
福岡営業所 TEL : 092 (939) 5700 FAX : 092 (939) 5703

■お問い合わせは _____